

ガス暖房専用熱源機 **暖ライフ**

取扱説明書

商品コード

44-752 型

ごあいさつ

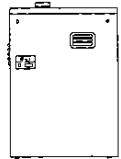
このたびは、大阪ガスのガス暖房専用熱源機暖ライフをお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

○別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



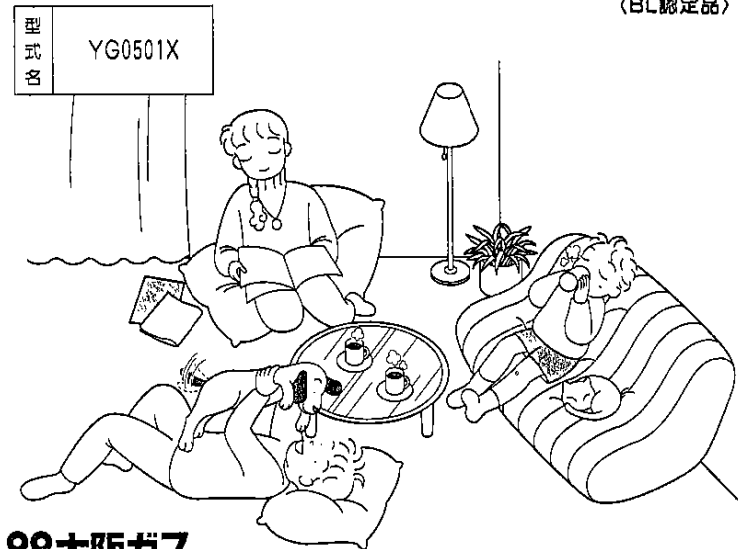
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 ☎550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎06(586)3200
 南部支社 ☎590 堺市住吉橋町2-2-19 ☎0722(38)1131
 北部支社 ☎568 高槻市藤の里町39-6 ☎0726(71)0361
 東部支社 ☎578 東大阪市稲葉2-3-17 ☎0729(62)1131
 兵庫事業本部 ☎650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎078(360)3100
 京都支社 ☎600 京都市下京区中堂寺粟田町1番地 ☎075(311)7381
 奈良支社 ☎631 奈良市学園北2-4-1 ☎0742(44)1111
 和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1-5 ☎0734(31)2481
 兵庫西支社 ☎670 姫路市神屋町4-8 ☎0792(85)2221
 豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6-57 ☎0796(23)2221
 滋賀支社 ☎525 草津市西大路町5-34 ☎0775(62)5311
 滋賀東支社 ☎522 彦根市大東町12-11 ☎0749(22)3131
 長浜営業センター ☎526 長浜市南呉服町3-4 ☎0749(62)7171
 本社・ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社またはサービスショップに連絡してください。

(BL認定品)



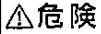

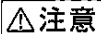
大阪ガス

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。













☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を搬入された人も含みます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	感電注意
	高温注意
	発火注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う
	アース必要
	電源プラグを抜く

も く じ

も く じ ページ

特に注意していただきたいこと 1~10

1. 使用前に
- 各部のなまえとはたらき 11
 - 別売温水温度リモコンの
なまえとはたらき 12

2. 使いかた
- はじめてお使いになるときは 13~14
 - ・運転前の準備と確認 13~14
 - ・温水温度の設定 13~14
 - 暖房のしかた 15~16
 - タイマー運転のしかた 17~18
 - 安全装置について 19
 - 暖房水の補給について 20
 - 凍結予防のしかた 21

3. 点検・お手入れ、他
- 点検・お手入れ 22
 - 故障かな?と思ったら 23~25
 - アフターサービス 26
 - 仕様 27

使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他



危険

■屋内設置の禁止

屋外用機器のため、屋内には絶対に設置しない。



禁止



☒ 不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



警告

■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～②の処置を行う。

また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しはしない。

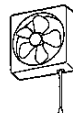
☒ 火や火花で引火し、火災になるおそれがあります。



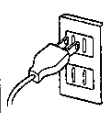
火気禁止



禁止



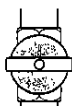
禁止



① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。



閉じる



ガス栓

② 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



連絡する



警告

■機器の設置について

● 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、有資格者による工事を行う。

☒ 思わぬ事故の原因になります。

■使用ガス・電源について

● 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

☒ 火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

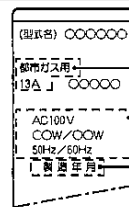
● 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

銘板

(例) 都市ガス用 13Aの場合



ガスの種類
(ガスグループ)

電源
(電圧・周波数)

製造年月

1995年 10月 製造品の場合

95.10.00001

製造NO



確認

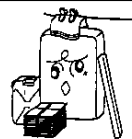
■火災予防

● 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。

☒ 火災のおそれがあります。



発火注意



■囲い禁止

● 機器設置後、増改築などによる波板囲いなどで屋内状態にしない。

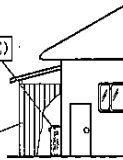
☒ 火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。



禁止

機器(屋外式)

囲い禁止



警告

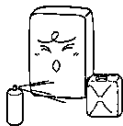
■機器周辺の注意

- 機器の周辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

☑ 火災のおそれや機器の故障の原因になります。



禁止

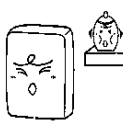


- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

☑ 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止



■異常時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

① 放熱器または別売の温水温度リモコンの運転スイッチを「切」にする。

② ガス栓を閉じる。



① リモコン



②



閉じる

ガス栓

■アースの確認

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

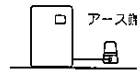
☑ 万一、機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



アースする



アース端子



アース線

アース棒

警告

床暖房をご使用の場合

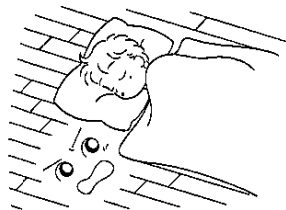
- 長時間、皮ふの同じところに触れて使用しない。

〈次のような方は特にご注意ください〉

- ・お子様・お年寄り・皮ふの弱い方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用された方
- ・深酒、疲労の激しい方
- 乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしては使用しない。



禁止

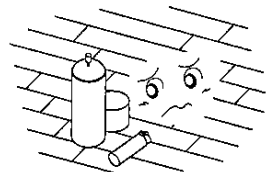


☑ 低温やけどのおそれがあります。

- 床暖房の上にスプレー缶、ライターなどを置かない。



禁止



☑ 爆発や火災のおそれがあります。

注意

■排気口（排気トップ）周辺は

- 排気ガスによって、加熱されて困るもの（植木・ベットなど）は、排気トップのそばには置かない。

☑ 植木が枯れたり、ベットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

■用途について

- 温水暖房以外の用途に使用しない。

☑ 思わぬ事故の原因になります。

■接触禁止

- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。

☑ やけどのおそれがあります。



接触禁止



■感電注意

- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

☑ 感電のおそれがあります。



感電注意



■電源コードを引っぱらない

- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない。

☑ 電源コード断線（芯線の一部）による発熱や発火の原因になります。



禁止



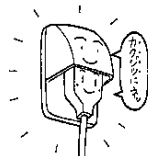
■電源プラグの注意

- 電源プラグにほこりが付いていないかときどき確認する。
- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

☑ プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと火災や感電のおそれがあります。



確認



注意

床暖房をご使用の場合

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしない。

☑ 水漏れの原因になります。



禁止

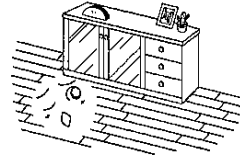


- 家具などを直接床に置かない。

☑ 床暖房の上に調度品、家具などを置くこと、家具などに熱がこもり、ひずみなどが発生する原因になります。

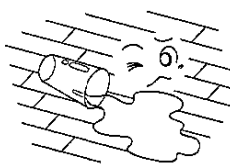


禁止



- 床面に水、薬品、しょう油などがこぼれたらすみやかにふきとる。

☑ 床暖房の放熱板が腐食する原因になります。

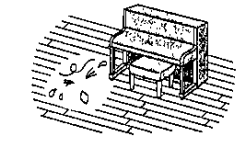


- ピアノなど重物にはパッドなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置する。

☑ 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

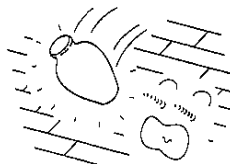


- 床へは衝撃を加えない。

☑ 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

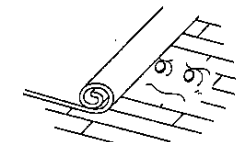


- 木質フローリングを使う場合、カーペットなどの敷物を敷かない。

☑ 機器の性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色する原因になります。



禁止



注意

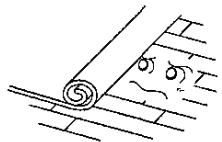
床暖房をご使用の場合

- ホットカーペットとの併用はしない。

☒ 床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



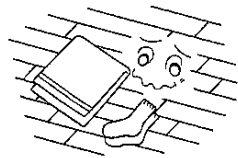
禁止



- 特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）に使わない。



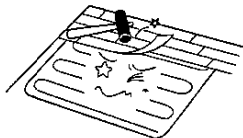
禁止



- カーペットを張り替える場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面テープかグリッパーで固定するようにする。釘や鎮で固定するのは避ける。
- また、交換を考えて、全面接着することは避ける。

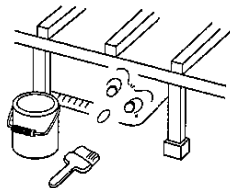


- カーペット以外の仕上材を張り替える場合は、販売店に相談する。



- 床下防蟻処理をするときは注意する。

☒ 床暖房および配管類に処理剤が付着すると、腐食する原因になります。



お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

■使用時の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

機器前面の燃焼表示を確認してください。
(13ページからの「使いかた」を参照)
別売のリモコンを使用の場合、リモコンの燃焼表示でも確認できます。

- 使用中も、ときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

■補助用具の使用について

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの(別売部品)以外は使用しないでください。

■業務用としての使用禁止

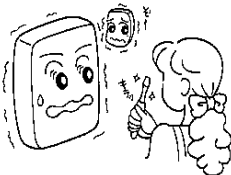
- 本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。
著しく寿命が短くなります。

■分解禁止

- 機器およびリモコンの分解は絶対にしてしないでください。



分解禁止



■お手入れ時の注意

- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

22ページの「点検とお手入れ」を参照してください。

■凍結に注意

- 外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。21ページの「凍結予防のしかた」を参照し、処置を行ってください。

凍結による機器・配管の修理は有料です。

■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、万一のガス漏れや凍結を防止するためガス栓を閉じてください。

21ページの「凍結予防のしかた」を参照してください。



閉じる



ガス栓

■子どものいたずらに注意

- リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

リモコンの故障の原因になります。

■停電時の処置

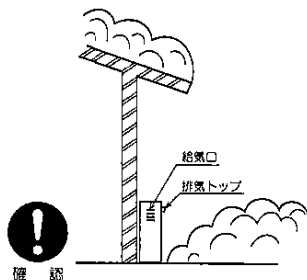
- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。13ページからの「使いかた」に従って、操作してください。

■積雪時の注意

- 積雪時は機器および機器の排気トップ・給気口が雪でふさがれていないか確認してください。

不完全燃焼の原因になります。

- 積雪や屋根からの落雪で機器および機器の排気トップ・給気口がふさがれている場合は、積雪・落雪対策が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。



■定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

■機器周囲の注意事項

- 機器の周囲に犬などのペットをつながないでください。

ペットの毛などが機器内に詰まり、不完全燃焼の原因になります。

- 増改築などにより、線入・網入板ガラスを排気トップの近くに取り付けなないでください。

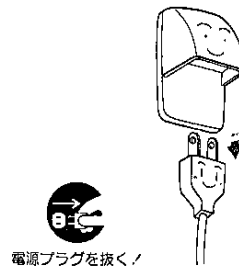
排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

■雷時の処置

- 雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。
(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にしてください。)

電子部品が故障する原因になります。

- 雷が過ぎかかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。
(または、機器用屋内ブレーカーを「入」にしてください。)

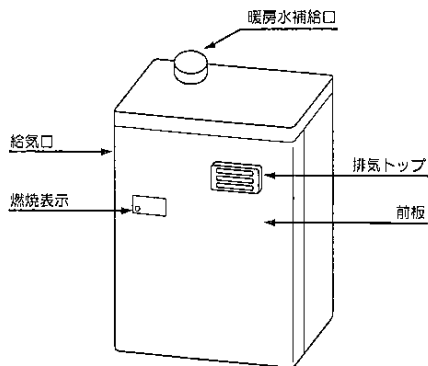


電源プラグを抜く!

各部のなまえとはたらき

機器本体

屋外据置設置形
44-752型

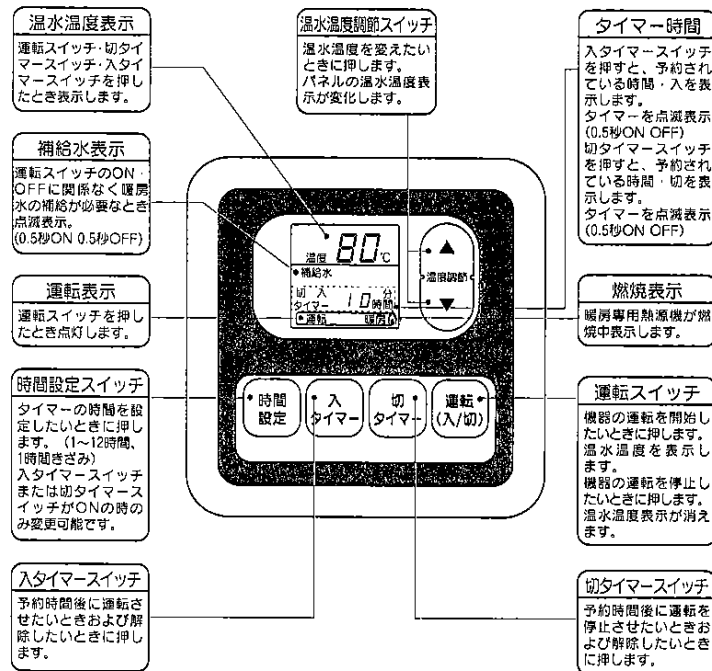


特長

- 温水を使用するため、お部屋の空気を汚さないクリーン暖房です。
- 設定温度が一目でわかるデジタル表示。(別売リモコン使用時)
- お部屋の放熱器(ガス温水エアコン等)の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。

別売温水温度リモコンのなまえとはたらき

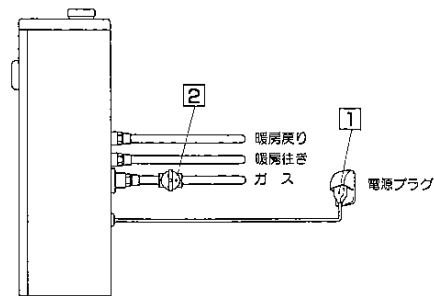
別売温水温度リモコン



※本図は説明用に全てを表示しているため、実際の表示とは異なります。

はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認 1～2 の手順で行ってください。



1 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、
機器用屋内ブレーカーのスイッチを
「入」にする。

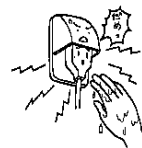
2 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

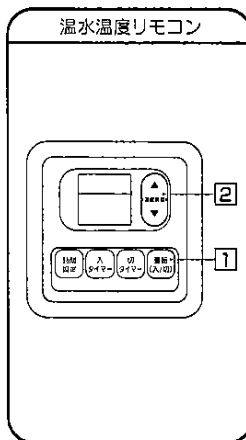
警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない。

☑ 感電のおそれがあります。

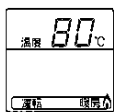


温水温度の設定（別売りリモコン使用時のみ）



1 運転スイッチを押す

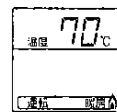
運転スイッチを押すと暖房運転
を開始します。



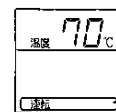
初めて運転スイッチを押したときは、80℃が表示されます。

2 温度調節スイッチを押す

床面の温度に応じて温水温度を
調節してください。



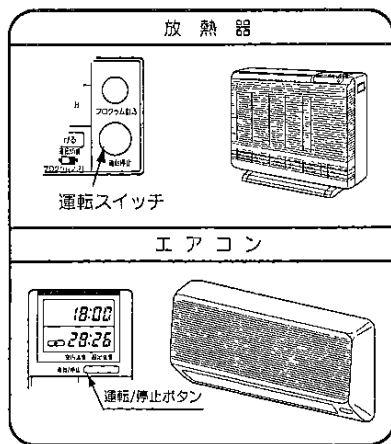
温水温度を自動的に調整する
ため運転中でも燃焼停止
することがあります。



運転中でも燃焼表示
が消えることがあります。

暖房のしかた

マルチコントロールの場合



1 放熱器またはエアコンの運転スイッチを押す



- 放熱器やエアコンにはいろいろな種類がありますので、それぞれの取扱説明書に従って操作してください。
- エアコンの場合、暖房のモードになっていることを確認してください。

2 暖房運転の開始

暖房運転の燃焼中は機器前面の燃焼表示が点灯します。
※温水温度を自動的に調節するため運転中でも燃焼停止することがあります。

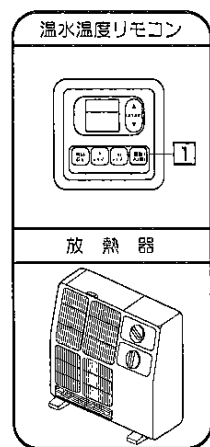


3 暖房運転の停止

放熱器またはエアコンの運転スイッチを押す。



マルチコントロールでない場合

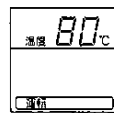


運転前の準備

バルブ（暖房配管回路）を全開にする。

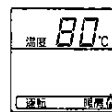
- 暖房配管または放熱器などのバルブを全開にしてください。
- 放熱器に電磁弁を使用している場合は、放熱器の切替スイッチを「ON」にしてください。自動的にバルブが「開」になります。

1 運転スイッチを押す



温水温度は80°Cで使用してください。

2 放熱器の運転つまみを「入」にする。

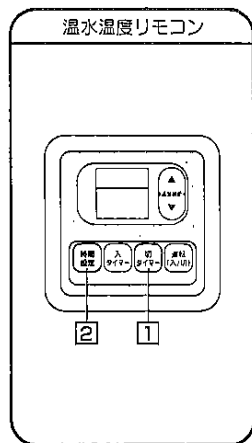


3 暖房運転の停止

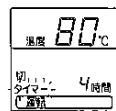
放熱器の運転つまみを「切」にする。
リモコンの運転スイッチを押す。



切タイマー運転のしかた

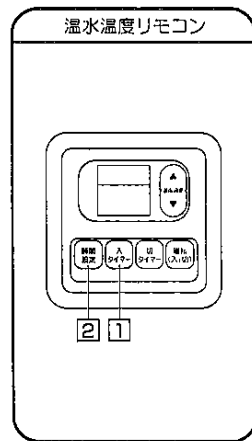


1 切タイマースイッチを押す

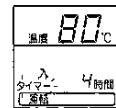


- 初めて切タイマースイッチを押したときは、タイマー時間は4時間に設定されています。
- 「タイマー」表示は点滅しています。

入タイマー運転のしかた

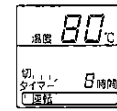


1 入タイマースイッチを押す



- 初めて入タイマースイッチを押したときは、タイマー時間は4時間に設定されています。
- 「タイマー」表示は点滅しています。

2 タイマー時間設定スイッチを押す



- タイマー時間を設定するとき、12時間の次は1時間にもどります。
- タイマー時間は1時間ごとに残り時間が減少し、1時間を切れれば分表示にかかります。
- 切タイマーを解除したいときは再度切タイマースイッチを押してください
- 切タイマー時間が分表示のときに時間設定スイッチを押すと1時間の表示にかかります。

2 タイマー時間設定スイッチを押す



- タイマー時間を設定するとき、12時間の次は1時間にもどります。
- タイマー時間は1時間ごとに残り時間が減少し、1時間を切れれば分表示にかかります。
- 入タイマーを解除したいときは再度入タイマースイッチを押してください。
- 入タイマー時間が分表示のときに時間設定スイッチを押すと1時間の表示にかかります。

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

安全装置	作動理由	はたらき (現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	運転スイッチを一旦切り再使用してください。
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。 (機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差ししてから使用してください。
空だき防止装置	循環水が低下したとき	自動的にガスを止めます。	機器天部の補給水キャップを外して、水を補給してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	自動的にポンプを回して凍結を予防します。	凍結予防のしかたもご覧ください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへ連絡してください。

暖房水の補給について

暖房水の補給 (1日8時間使用で2ヶ月に1回程度必要です。)

暖房水が減少した場合、暖房水タンク内の水位センサーが作動し暖房が停止します。このとき機器前面の燃焼ランプが点滅します。(10回点滅) …別売りリモコン使用の場合 (補給水表示の点滅、機器運転中は04も表示)

暖房水が減少した場合

暖房運転の途中で火が消えた場合、または点火操作を行っても火が付かない場合、下記の手順で熱源機の暖房水タンク内に水を補給してください。

(暖房水タンク内に補給する水は必ず水道水を使用してください。
地下水などを使用すると熱源機が損傷する原因となります。)

補給作業手順

(1) リモコンや放熱器の運転をすべて停止してください。

(2) 注水口キャップをまわして取りはずします。

(暖房水が冷えてから行ってください。
温水温度が高いと温風が吹き出すことがあります。)

(3) 注水口から水道水をやかんなどでゆっくり補給してください。

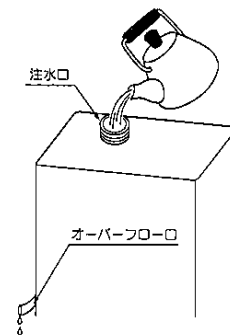
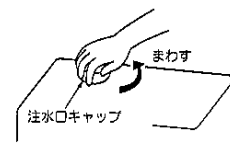
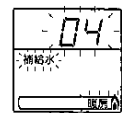
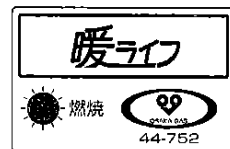
このとき水がオーバーフローから出るまで補給してください。

- 夏場など、機器を使用しないときでも故障を防ぐために機器を自動的に数秒間運転させることがあります。(燃焼はしません。)

- 燃焼表示の点滅がありましたら、機器を使用していないときでも水を補給してください。

- オーバーフローから水が出ても、機器前面の燃焼表示は点滅したままです。(別売りリモコンは運転スイッチがOFFの状態になります。)

放熱器またはリモコンの運転スイッチをONすれば点滅はなくなり、機器は正常に運転します。



使った

凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法

気温が下がってくると自動的にポンプが回り、凍結を予防しますので電源プラグを抜かないでください。

- 1 放熱器または別売リモコンの運転スイッチを切る。
- 2 各部屋の操作つまみを「※」にする。
※放熱器は種類によって、凍結予防運転の方法が異なるため、放熱器の説明書をお読みください。

不凍液について


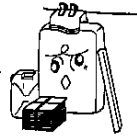

凍結予防には不凍液も使用しています。不凍液は適正濃度を保つため1年に1度点検が必要です。お買求めの販売店、担当メンテ会社、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

もし凍結して暖房ができないとき

- 1 放熱器や別売リモコンの運転スイッチを切る。
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

点検・お手入れ

	点検のしかた	処置
機器 および 周辺	機器の周りや排気トップのそばに燃えやすいものを置いていませんか？ 	燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどがありますか？ 	
	機器の外観に異常がありませんか？	
	排気トップおよび給気口にほこりや、変色したあとがありませんか？	
	機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？	
機器や配管から、水漏れはありませんか？	お買求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。	

お手入れのしかた

- 機器本体・リモコン
- 固くしぼった布で汚れをふきとってください。
 - ベンジンやシンナーなどは使わないでください。
 - 機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。
 - リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。
 - リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。



定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために年に1回程度の定期点検をおすすめします。詳しくは、お買求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。この場合は、有料となります。

故障かな?と思ったら

■故障かな?と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●リモコンの運転表示が点灯しない。	●停電していませんか? ●漏電安全装置が作動していませんか?	9 19
●暖房がきかない。	●暖房水が補給されていますか? ●ガス栓が全開になっていますか?	20 14

●以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。

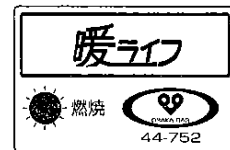
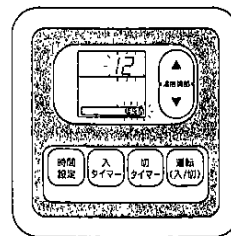
■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●停電復旧後に暖房ができない。	●暖房している途中で停電が起きたときは、再度通電しても放熱器や別売リモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。(放熱器の種類によっては運転するものもあります。) 再度放熱器または別売リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音(ブーン)がする。	●再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間ファンがまわる音です。
●寒い日に排気トップから白い煙がでる。	●冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
●冬期など寒いときに暖房のポンプが回る。	●凍結予防のため、ポンプが自動運転をするためです。
●暖かい季節でも暖房のポンプが回る。	●ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを回しているためです。

異常報知(OKモニター)をお調べください。

●機器に不具合が生じると、機器本体正面の燃焼表示が点滅します。また別売のリモコン表示画面に下記のような2けたの数字と燃焼表示が点滅します。

別売温水温度リモコン



リモコン表示パネル	機器燃焼ランプ点滅回数	内 容	処 置 方 法
1 1	1回	バーナ不着火	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして、表示が出なければ正常です。
1 2	2回	バーナ途中消火	
1 6	7回	暖房高温検出	
1 7	10回	暖房回路の不具合	※
1 4	3回	温度ヒューズ又はハイリミット作動	※
3 1	5回	サーミスタ系統の不具合	※
0 4	10回	暖房水不足	手動補水してください。
6 1	6回	燃焼ファン系統の不具合	※
7 1又は7 2	8回	電装系統の不具合	※
7 6	9回	リモコン系統の不具合	※

●処置後も異常報知をくり返すときや、上記以外の表示または、※印の場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

点検 お手入れ 他

故障かな?と思ったら

■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
<ul style="list-style-type: none"> 床面の温度がなかなか暖まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 床面が暖まるには仕上材の種類や外気温などによって変化し、暖房感が得られるようになるには(木質フローリング、カーペットなどの場合約30分~1時間)(畳、タイル、天然石などの場合約1時間~2時間)予熱時間が必要です。あらかじめリモコンでタイマー運転を設定してご使用ください。(リモコンの設定方法はリモコンの運転手順をご確認ください。)
<ul style="list-style-type: none"> 床面の暖かさが場所によって少し違う。 	<ul style="list-style-type: none"> 床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、温水の流れているところとそうでないところでは床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 床面の足触りが場所によって少し違う。 	<ul style="list-style-type: none"> カーペットや防音フローリングなど、やわらかい仕上材では、床暖房の固定部分や温水接続部分などのため、床面の足触りがかたく感じられることがありますが異常ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 床暖房を使用中に音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 床暖房を使用しますと、極まれに床面で音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって、本体および仕上材など床の構造体が膨張・伸縮し、そのさいに発生するものであり異常ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> クッションフロアが部分的に変色している。 	<ul style="list-style-type: none"> 床仕上材がクッションフロアシートの場合、長時間ご使用になりますと、床表面にちりなどが付着して、変色したように見えることがありますが、異常ではありません。薄めた中性洗剤を含ませた布で拭くと汚れは目立たなくなります。

●なお、ご不明な点は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 23ページからの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガス暖房専用熱源機(暖ライフ)

2. 大阪ガス商品コード 例
(機器前面に貼付してあります)

(N) 44-752 (U)
大阪ガス株式会社
744 752 03
(88-046RA)

3. 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

4. ご住所・お名前・電話番号・通順(できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
修理によって性能が維持できる場合は修理いたします。(有料)

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。
その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕 様

メ モ

品 種 名	ガス暖房専用熱源機	
型 式 名	YG0501X	
品 番	44-752型	
種 類	暖房方式	温水循環方式
	給排気方式	屋外式
設置方式	屋外設置設置方式	
点火方式	ダイレクト	
外形寸法	本体	高さ545mm×幅400mm×奥行188mm
	温水温度リモコン	高さ120mm×幅120mm×奥行26mm
質量	本体	14kg (運転時17kg)
暖房ポンプ機外揚程	29.4 kPa (3.0mH ₂ O) (5.0ℓ/minのとき)	
温度制御方式	ON-OFF制御方式	
温度検知範囲	約80℃または約90℃	
排気ファン制御方式	回転数一定制御	
安全装置	立消え安全装置・残火安全装置・空だき防止装置・過熱防止装置・電流ヒューズ 漏電安全装置 (漏電しゃ断器)・燃焼ファン回転数検知装置・凍結予防装置	
使用電源	電 圧	AC100V
	周 波 数	60Hz
消費電力	72W (凍結予防運転起動時40W)	
接続	ガス	15A (R1/2) オネジ
	暖房	15A (G1/2) オネジ
	電気	本体電源 AC100V 60Hz 3心 (うち1心アース用)
温水温度リモコン	温水温度リモコン~本体 DC20V 2心	
付属品	転倒防止金具 (S)・誘子 (S)	

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量 (kW)	
	ガス消費量	
都市ガス用 13A	5.81 (5000kcal/h)	4.65 (4000kcal/h)
LPGガス用	5.88 (0.42kg/h)	4.65 (4000kcal/h)